

6.3 教育方法のあり方

進捗状況報告

カリキュラム委員会やFD委員会を中心に、引き続き、教育効果をさらに高める教育方法を模索している。2008年2月14日には、「演習」をテーマとするFD研修会が開かれ、文学部教員がほぼ全員参加して、活発な議論を行い、ゼミ運営の問題点やその改善への方向性に関する有意義な意見を交換した。また、2008年3月15日に開かれた人文演習担当者会議においては、2008年4月から導入される新しい形態の「人文演習」、すなわち全専修の学生をシャッフルしてクラスを編成する「人文演習」の実施に向けて様々な意見が交換された。また、当初2007年夏に予定されていた全学における情報システム変更が延期されたことに伴い、効果的な運用方法を主に情報環境委員会において継続して検討していく。なお、2008年度は授業評価の一斉実施を行うので、その結果をどのように有効に活用しうるか様々な角度から検討する予定である。

学内第三者評価

演習に関するFD活動への教員の高い参加率等、引き続きより教育効果を高める教育方法への取り組みが全学部的に行われていると認められる。とくに、新しい「人文演習」の取り組みに期待したい。なお、学部のFD活動については、教育効果と学部の教育目的との連動性についても検証されることを期待したい。